



教授の呟き

第20回

規制緩和と新ルールづくりの両立を

東京海洋大学教授 苦瀬博仁

●●● ルールに従った都市の美 ●●●

8月になると夏休みを利用して、多くの人々が海外に出かける。特にパリやロンドンなどの西欧都市は、古い建築物が長い歴史を感じさせ、多くの人々のあこがれの的にもなっている。街路樹が続く広い歩道も、迷路のような細い路地も、建物の高さや色調がそろっていて美しい。郊外の新興住宅地であっても、街並みに統一感があり、しっとりとした落ち着きを醸し出している。

西欧の街並みが人々をひきつける背景には、厳しい規制やルールの存在がある。例えば家屋などが建築可能な部分は、宅地単位で決められており、壁の色や構造も細かく定められていることが多い。日常生活では、洗濯物を屋外に干すなどは、もってのほか。市民意識が根付いている西欧社会では、景観保全のためのルールが市民の義務として受け止められている。

諸外国に比較して規制が緩やかな日本の街並みには、統一感が乏しい。街並みの景観維持のためには多少の我慢が必要である。しかし「自分の土地に建てる自分の家が、なぜ規制されるのか」と個人の好みを優先しようとするれば、景観は犠牲にせざるを得ない。

●●● 進行中の規制緩和 ●●●

規制にしろルールにしろ、時代の

変化に応じて緩和すべきものもあれば、あらたに確立すべきものもある。しかし両者のバランスは難しい。

一般論で言えば、規制を伴う制度が作られるときには、それなりに合理的な理由や根拠があったに違いない。しかし次第に既得権を生み、他者には不合理なものになってしまうことさえある。また当初は合理的な制度であっても、時代が変わるにつれて社会に適応できなくなることはよくある。特にロジスティクスはさまざまな部門に関与するからこそ、整合性が取れなくなった複数の規制もありそうだ。

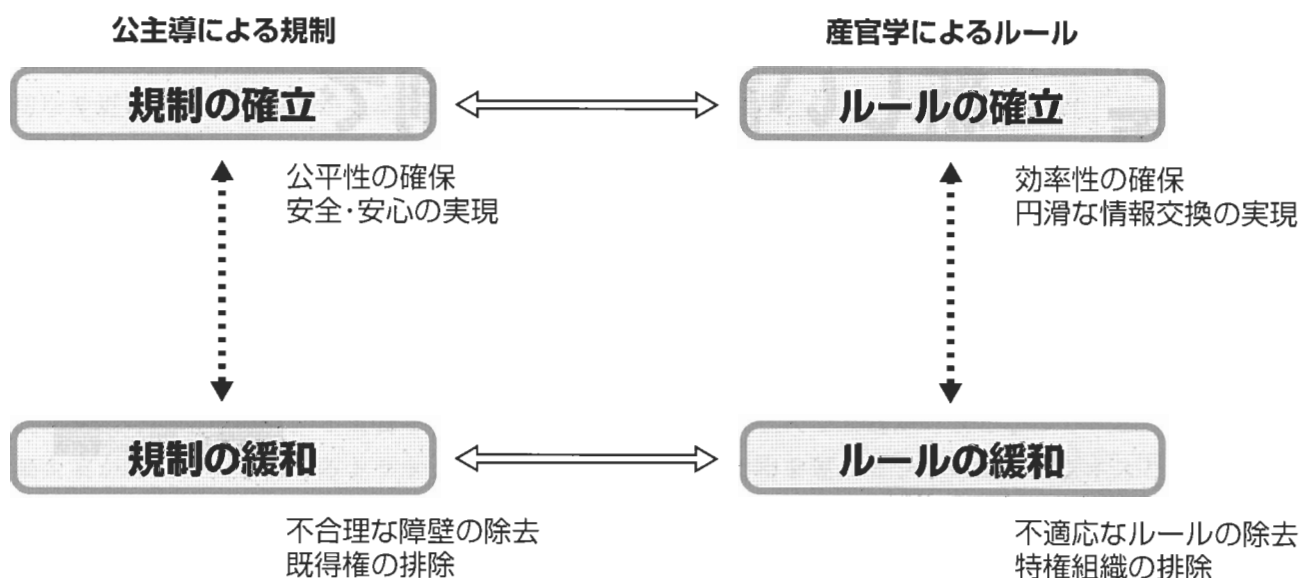
それゆえ効率的なロジスティクスの実現を阻む壁を排除し、既得権者に有利に働く規制を緩和しなければならない。近年になって、物流にかかわる規制緩和は着実に進んでいる部分もあり、この間の関係者の努力は評価されるべきだろうし、今後とも期待したい。

●●● 分が悪い新ルールづくり ●●●

一方で集団で生活する以上は一定のルールが必要であり、規制緩和の時代だからといって、社会のルールを踏み外してよいものではない。例えば赤信号の交差点で停止することは、交通事故を防止するための世界共通のルールである。このルールを緩和しろとはだれも言わないだろうし、むしろ厳格な適用が望まれる。

しかし、ときどき規制とルールを混同した議論に出くわすことがある。

規制とルール確立・緩和



新たなルールづくりは規制強化と誤解される面もあるので、昨今の社会情勢からすれば風向きも悪い。そのためもあってか、ルールづくりは規制緩和に比較して、少しばかり後れを取っているように思う。

●●● 今が新ルール確立の絶好機

自動車が普及する時期には、交通事故を防ぐためにルールの確立が求められた。同じように情報化と国際化が本格化している現在は、これにふさわしいルールが必要になる。

効率的なロジスティクスの実現という視点から見れば、ルールづくりの一環としての標準化や規格化の遅れが、情報化や国際化への対応の遅れにつながり、ひいてはわが国の産業競争力を低下させかねないからで

ある。

例えばIT（情報技術）にかかわるEDI（電子データ交換）の標準化やコードの規格化は、企業間・国際間の円滑な情報交換に不可欠であるし、さまざまな情報システムを連携させるときにも必要である。それゆえ産業貿易国家として将来展望を開くためにも、少しばかり先を見据えて大きな枠組みの中で戦略を立て、

新しい時代にふさわしいルールづくりに取り組む必要があるだろう。

とりわけインターネットの利用が日常化し、ICタグ（RFID）の普及を目前にした今こそが、ルールの確立の絶好機である。

産官学を問わず、ロジスティクスに携わる人々の協調と努力が期待されている。



東京海洋大学 海洋工学部
流通情報工学科 教授
苫瀬博仁

（くせ ひろひと）1951年東京生まれ。73年早稲田大学理工学部土木工学科卒業。75年、同大学大学院修士課程修了。81年、同大学大学院博士課程修了後、日本国土開発に入社。86年から東京商船大学助教授、94年より同大学教授。2003年大学統合により、東京海洋大学教授。副学部長を経て、04年4月より評議員。94年から95年の1年間、フィリピン大学客員教授。04年6月より東京大学大学院医学系研究科客員教授（兼任）。主な著書に「付加価値創造のロジスティクス」（税務経理協会）、「都市交通→都市交通計画・都市物流計画」（丸善）、「マニラ・エンジン・トラブル」（論創社）、「明日の都市交通政策」（成文堂）

